

ゴミゼロ運動 戸隠森林植物園
周辺で清掃活動を実施

【北信森林管理署】

五月三十日、「ゴミゼロの日」に合わせ、戸隠山国有林内の戸隠森林植物園とその周辺において、関係機関や団体の協力を得て、総勢約五十名による清掃美化活動と外来植物の除去を実施しました。

当日は、夏のような日差しの中、参加者の皆さんは林野庁のロゴ入りベストを着用し、植物園内や戸隠神社奥社参道、戸隠キャンプ場や周辺道路沿いのゴミを拾い、ハルザキヤマガラシ、ヒメシヨオン、セイヨウタンポポ等の外来植物の除去作業を行いました。

今回拾ったゴミの量は、ごくわずかでしたが、感染予防用と思われるマスクが落ちているケースが多く見受けられました。

これからも管内の一大観光地である戸隠山麓の清掃美化の大切さを広くPRしながら、ゴミゼロ運動を継続してまいります。



外来植物で一杯になった軽トラック



駐車場脇での外来植物の除去作業

梅雨の晴れ間にゴミ拾い
国有林クリーン活動実施

【飛騨森林管理署】

五月三十日、高山市清見町に所在する彦谷国有林と隣接する県道九〇号線(別名・飛騨卯の花街道)と上小鳥国有林及び隣接する国道一五八号線の二箇所においてクリーン活動(ゴミ拾い)を実施しました。

東海地区の梅雨入りが発表された翌日であり、天候が心配されましたが、青空に恵まれ、爽やかな陽気のなか、当署の職員に加え、名古屋林業土木協会及び名古屋造林素材生産事業協会の会員など総勢四十八名が参加し、一時間半ほどの作業に汗を流しました。

彦谷国有林は、北アルプスや白山が一望できることで有名な猪臥山へつながる登山ルートとなっており、東海北陸道から飛騨市街地へ抜ける県道九〇号線の待避所付近を中心に多くのゴミが目立ち、回収袋がすぐに一杯になってしまいう参加者もいました。

今回初めて活動を行った上小鳥



車の接近に気をつけながらのクリーン活動

国有林に接する国道一五八号線は、高山市街地から白川郷や郡上市へ至る主要道で交通量も多いことからポイ捨てなどによるものと思われるゴミが目立ちました。回収されたゴミは軽トラック一台分ぐらいあり、活動終了後に職員が分別し、リサイクルセンターに搬入したところ、計測結果は六十詰で、昨年度の二倍の回収量でした。

山へ入る方だけでなく、道路脇で休憩する方が多い中、ゴミは捨てない、持ち帰るという意識を持っていただけるよう、今後もクリーン活動を継続して行なってまいります。

地域関係者と協力し

「国有林ゴミゼロ運動」を実施

【東濃森林管理署】

六月十四日、白川付知林道（市道五〇号線）沿線において、「国有林ゴミゼロ運動」を行いました。

同林道は、付知峡自然休養林のアクセス路として、高檜の滝をはじめとする滝や溪谷の散策、ランプの宿として知られている渡合温泉の利用等、名古屋市などの中京圏から多くの方が訪れます。

付知峡の自然美を求めて訪れる方々を気持ちよく迎えるため、中津川市をはじめ、付知町観光協会や関係団体など、総勢四十五名に参加していただき、小雨降る蒸し暑い中、林道周辺のゴミ拾いや草刈り等の作業に汗を流しました。

また、作業終了後には、昨年度、当局にて開催した「中部の森林林業従事者写真コンテスト」において入選された当署管内の作品を紹介し、賞状の授与をさせていただきました。

この「国有林ゴミゼロ運動」は、



ゴミゼロ運動後の記念撮影

森林にふれあう場の環境を整えるとともに、不法投棄防止等の啓発活動として毎年実施しています。が、ゴミの量は年々減少しており、運動の成果を感じています。今後、「ゴミゼロ」を目指して、引き続き、地域関係者と連携し、より多くの方がこの地を訪れ、楽しんでいただけるよう取り組んでまいります。

名古屋市高年大学の

「熱田白鳥の歴史館」講座

【名古屋事務所】

六月七日と九日、名古屋高年大学鯉城学園で専門講座として「地域」を専攻されている二クラスの学生、各四十名近くの方が授業の一環として「熱田白鳥の歴史館」を訪問されました。

鯉城学園は、高齢者の生きがいづくりと、地域活動の核となる人材の養成を目的として設立されたシニア大学で、こちらの二クラスでは名古屋の歴史や文化、産業など広く学んでおられます。

当所の職員より、中部森林管理局の業務内容、白鳥貯木場の四百年にわたる歴史、木曾山の森林・林業の歴史、伐木運材図絵に見る江戸時代の伐採・搬出から現代の林業までの変遷などを説明しました。日頃、あまり馴染みのない奥山での林業について、昔の迫力ある運材の動画などから興味を持っていただけたようでした。

また、参加者の中には、地元の名古屋市熱田区で育ち、熱田営林



国有林野事業や白鳥貯木場の歴史を紹介

署や白鳥貯木場は子どもの頃の遊び場だったと、当時を懐かしむ姿も見られ、白鳥貯木場で見たことや体験したことなどを教えていただきました。名古屋市では、地域への理解を深める様々な取組をされていますので、これからもこのような機会を得て、都市住民の方々に川上の森林・林業を紹介していきたいと思えます。



赤岳山頂における開山祭の様子

「八ヶ岳開山祭」

四年ぶりの開催

【南信森林管理署・東信森林管理署】

六月四日、八ヶ岳連峰の夏山シーズン到来に合わせて開山祭が行われました。

コロナ禍の影響もあり、四年ぶりの山頂での開催となり、開山祭を待ちわびた多くの登山者や山小屋関係者等が、南八ヶ岳会場（赤岳山頂）に約三百人、北八ヶ岳会場（北横岳山頂）に約三百人集まり、今年の登山の安全を祈願しました。

北八ヶ岳会場では、南信署の署長より、「八ヶ岳は毎年多くの登山者で賑わう分、山岳遭難も多発しており、昨年は五十二件の遭難が発生し、四人の命が失われました。登山者の方々には適切な装備と自身の体力、実力に合った登山ルートを設定し、安全にしっかりと留意していただくとともに、貴重な高山生態系の保護活動にもご理解、ご協力をお願いし、山での充実した時間を過ごしていただきたい」との祝辞を述べました。

続いて、遭難事故者を追悼する献花と黙祷が捧げられ、雪山讃歌の合唱が行われました。その後は参加者に御神酒が振る舞われ、集まった人々は、御神酒が入った紙コップを片手に他の登山者と談笑し、記念撮影を行うなど、楽しいひと時を過ごしていました。また、参加者に限定の記念ピンバッジが配られ、開山祭は無事に終了しました。

八ヶ岳一帯は、国定公園に指定されており、首都圏からのアクセスも良好で、老若男女を問わず楽しめる多様な登山ルートがあることから、例年多くの登山者が訪れます。

新型コロナウイルス感染症の分類が見直され、今後、より多くの登山者が見込まれる一方で遭難事故の増加も懸念されています。

当署としては、山小屋関係者や地域の観光関係者の方々と連携し、山岳遭難のリスクを低減させる取組を推進していくとともに、八ヶ岳の豊かな自然環境の保全にも取り組んでまいります。

シリーズ

森林官からの便り

国有林の現場の最前線で、働く森林官の仕事や、管轄する地域の特色などを紹介します。

【東信森林管理署佐久森林事務所】

森林官 田中良太

佐久森林事務所は長野県東部の佐久市に所在し、日本一美しいとされている白樺群生地である佐久穂町の国有林、約四、〇〇〇ヘクタールを管理しています。

管内東側には信州百名山の一つである茂来山があります。標高一、七七八メートルの茂来山は、手軽な登山が楽しめる場としても人気で、山頂へ向かう途中には「森の巨人たち百選」に選ばれた「こぶ太郎（トチノキ・推定樹齢二五〇年超・胸高直径一七〇センチ）」にも出会うことができます。また、山頂部は眺望



こぶ太郎

が開けていることから、八ヶ岳連峰や佐久平を一望できる景色も楽しめます。

管内の西側は、八ヶ岳中信高原国定公園に指定されている北八ヶ岳エリアがあり、白駒の池や双子池などがあります。特に白駒の池は、標高二、一〇〇メートル以上の湖としては日本一広い湖です。国道二九九号線沿いにある駐車場から



白駒の池（高見石より望む）

も近く、夏の新緑や秋の紅葉を楽しむ多くの観光客が訪れる名所となっています。

さらに、池の周辺は苔の森としても知られており、四八五種類の苔が生息している神秘的な原生林が特徴で、苔と原生林がマッチした神秘的な場所となっています。



神秘的な原生林の様子

このように身近な国有林として親しまれている当事務所の森林官として、日頃の林野巡視から造林事業の監督など、多様な業務を実施しています。森林の外でも地元

消防団等と協力しての山火事予防パレードや様々な会議への出席等もあり、外部の方々との連携も重要な要素です。

私は今年度より森林官となりましたが、分らない事も多くあり、署の担当者や他の森林事務所の森林官からもアドバイスをいただきながら、日々業務に努めています。



筆者

■未来の担い手へのメッセージ
国有林をフィールドに、育林から木材としての活用まで、時間をかけて森林を育てることがメインとなりますが、それ以外にも貴重な自然環境の維持管理、土地の活用など、多種多様な業務を行っており、様々な立場から森林に関わることができる職場です。興味がある方は、是非この職場で共に働きましょう。



《シリーズ「私の森語り」》

シリーズ
「私の森語り」
もりかた

「滝めぐりのシーズンが
やってきました」



NPO法人飛騨小坂200滝
理事長
みなごし 真佐代

■自己紹介

主人の転勤で小坂町に引っ越したのは二十年前の事です。子育てやボランティアで地域の方々との繋がりが増え、子育ての終盤頃には小坂の観光に携わる仕事に就きました。それが「岐阜の宝もの」に関わる仕事で、小坂の宝ものを掘り起こし、体験プログラムを開催し、小坂の滝めぐりと共に紹介する内容でした。その経験が小坂の自然、暮らし、歴史、文化を知り、滝めぐりでの

森林・林業との関わりの中で、様々な課題に挑戦されている方の取組を紹介します。



案内や子どもたちへの環境教育などの活動に役立っています。

■活動内容

小坂の滝めぐり写真集、これは滝調査委員会の方々が一つひとつの滝を手弁当で調査し、地図に落とし込み、大きさを測定するという努力が結集された写真集です。



蒼く美しい水瀑に出会う冬の滝めぐり

これがきっかけとなり、初代理事長がNPO法人飛騨小坂200滝を立ち上げました。

写真で残すだけでなく、行ける

滝めぐり、会える滝めぐりとして多くの方を案内し、この自然をいつまでも大切にしていける目的で同志を募りました。現在は、その思いに共感した若者たちがアクティビティとして夏の沢登り、冬の氷瀑ツアーを開催しています。

夏の沢登り「小坂なシャワークライミング」では、ウエットスーツを着用し、ライフジャケット、ヘルメット、沢たびで装備を整え、谷にくりだします。

谷歩きから始まるこのツアー、少し行くと深みに入り、泳いだり、岩に登りジャブーンと飛び込んだり、そして、ザイルで滝を登り、上を目指す、まさに体全体を駆使しながら沢を攻略していく、そんな体験ができます。

そのツアーをサポートする若手ガイド、スキルも高く、参加者を楽しませること間違いなしです。皆様のお越しをお待ちしています。



清流アドベンチャー！夏の滝めぐり

■メッセージ

先日、岐阜県より岐阜未来遺産に認定されました。持続可能な観光の先進的取組として世界から選ばれる旅先となる、期待できる地域・観光プログラムとして選ばれました。

今後、受け入れ環境の整備や魅力向上の取組を行い、多くの方に小坂の滝めぐりを楽しんでいただけるよう努めてまいります。

○連絡先

〒509-1311
岐阜県下呂市小坂町落合38-8
電話：0576-6212215
<https://www.osaka-taki.com/>



暖帯から温帯へと移り変わる森

賤母 生物群集保護林

設定目的

木曾谷南部（賤母）周辺の標高三〇〇〜五〇〇級の範囲には、温帯性針葉樹を主体としつつも常緑広葉樹が混在しており、太平洋側の温帯林から暖帯林への移行帯を形成しています。

これらは木曾谷の森林の中でも特異であり、地域固有の植生分布を含む森林生態系を一体的に保護しています。

地況・林況

当保護林は、長野・岐阜県境周辺の木曾川左岸に位置しています。

高木層は木曾ヒノキ、サワラ、モミ、ツガ等で、低木層はヒサカキ、ウラジロガシ、ヤブツバキ等の暖帯系の常緑広葉樹を多く含む森林となっており、その構成種は五〇〇種に及ぶとされています。

所在地

長野県 木曾郡 南木曾町
岐阜県 中津川市



国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612

※詳細は、コードを読み込んでください。



シリーズ

中部の保護林(第27回)

シリーズ

秘蔵写真

今は昔の林業

第27回

中部森林管理局総務課

井上 日呂登

今は昔、山村に暮らす人々とその生業としての林業を当局秘蔵の写真とともにご紹介します。

「安全懇談会」

林業の作業中に発生する労働災害は残念ながら昔も今も決して少なくありません。重量のある木材を扱うこと、作業が行われる場所が傾斜地や滑りやすい場所もある山林であること、刃を持った道具を扱うことなど、様々な要因が背景にはあります。

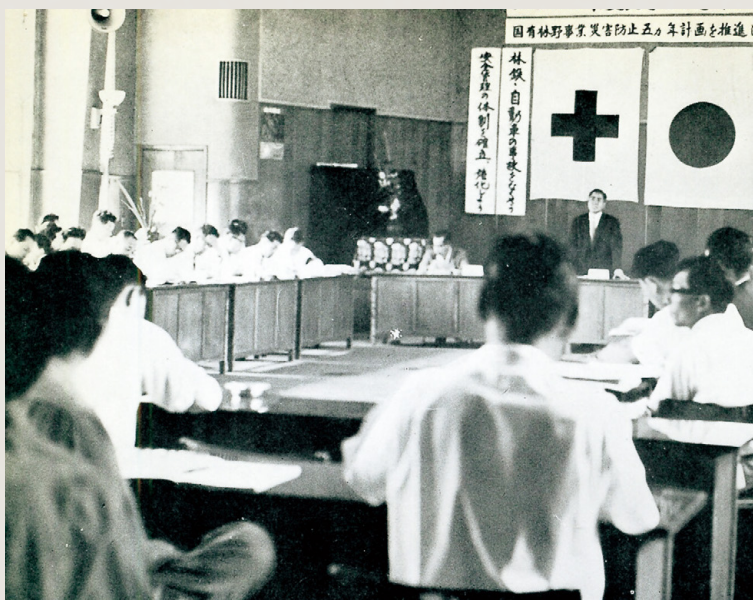


安全懇談会での実演
(昭和33年頃・旧長野営林局管内)



安全懇談会での実演
(昭和31年・現在の木曾森林管理署)

古くは現場仕事の世界では「ケガと弁当は自分持ち」などと言われ、労働災害への安全対策は働く人自身に任せられがちでしたが、時代が経つにつれて社会や職場組織でも対策が考えられるようになっていきました。



昭和36年・長野営林局安全会議の様子

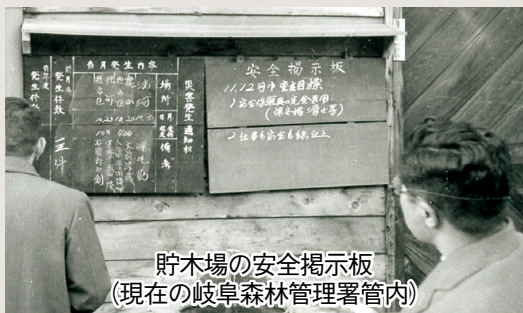
国有林でも安全懇談会、安全会議、安全大会などの名称で集会・会議が開催され、労働

災害の縮減に向けた分析、対策、注意喚起などが取り組まれてきました。特に七月一日から七日までの「全国安全週間」には昭和初期から安全に関する大きな行事が行われてきています。

また、実際に作業が行われる現場の近くを目につく場所に安全標語が掲げられたり、作業小屋に安全掲示板が設置されるなど、様々な場面で注意喚起がはかられたりもしています。



森林鉄道沿いに掲示された安全標語
(昭和30年頃・現在の木曾森林管理署管内)



貯木場の安全掲示板
(現在の岐阜森林管理署管内)

ここで紹介している写真は、当局サイト「モノクロ森林紀行」で紹介しております。これは、カラー写真のない時代へ時を超えて！むかしの写真を紹介するサイトです。
当サイトへは、コードを讀み込んでください。



**地元が誇る
林業の魅力を発信**

岐阜市にある「ぎふ木遊館(岐阜県の施設)は、岐阜県の豊かな森林の恵みを体感し、森林に誇りと愛着を持ち、守り育てる人材を育む「ぎふ木育」を推進するため、「だれでも」「いつでも」「ぎふの木を核とした」「遊び」「学び」「交流・連携」「創造」「発信」のサービスを受受できる総合的な拠点として整備されており、岐阜県内の市町村における森林の魅力、木育の取組やおもちゃ作家の方々を紹介するなどの様々な企画展が行われています。

今年の六月十七日から七月十四日までの間は、中津川市の企画展が開催されており、同市からの協力依頼を受けた東濃森林管理署では、所蔵している「付知川における材木搬出の沿革と繪解」「初代大ヒノキの写真」「平成九年度 伊勢神宮御神木斧入式の切り株」などの貸し出しを行い、地域の森林や林業の歴史などを紹介しました。

ぎふ木遊館には、県内外から多くの利用者が訪れ、県内各市町村

の魅力が再発見できる企画展は、とても好評のようです。

中部森林管理局では、これからも森林、林業、木材産業の魅力発信に向けて、地元市町村や関係団体等とともに取り組んでまいります。



岐阜県内でも意外と知られていない林業などの魅力を発信

**調達情報
メールマガジン
はじめました!**

中部森林管理局経理課では、より多くの事業者の皆さまに入札情報をお届けするため、中部森林管理局及び森林管理署等が発注する各種工事や、造林事業、素材生産事業、物品等の調達情報について、今年の六月から登録者へのメール配信をはじめました!

- 配信日/毎週水曜日
- 登録及び購読料/無料

メールマガジン登録の申し込みは、コードを読み込んでいただき、リンク先のページでお願いいたします。

配信変更(配信先メールアドレス変更、広報誌「中部の森林」メールマガジン追加等)や、配信解除を行うこともできます。

ぜひ、ご登録ください!



編集長だより

(中部の森林へのご意見・ご要望等の投稿は、migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。)

パプアニューギニア森林公社職員が研修に来られるということで、取材に行っていました。

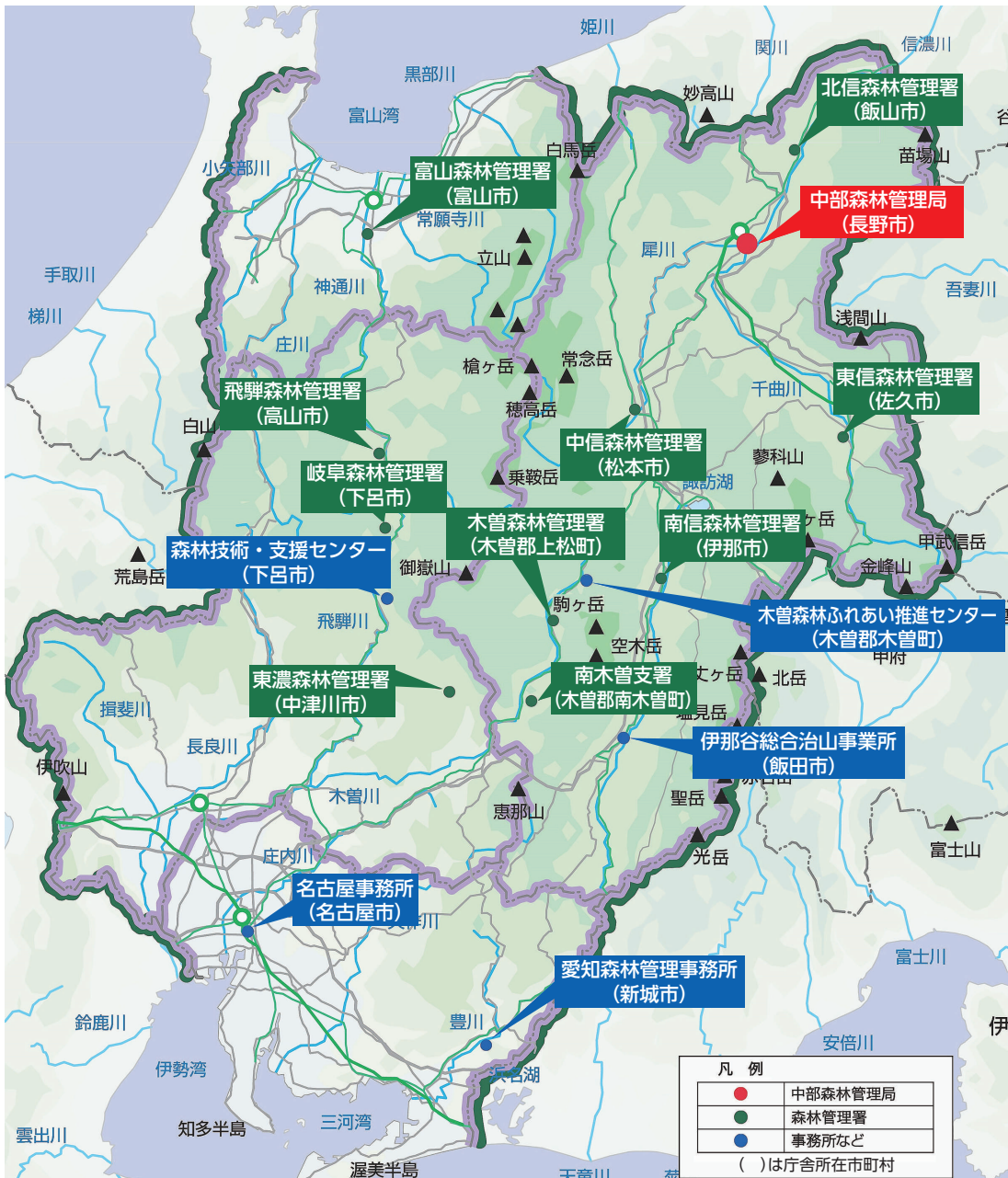
研修場所となった木曾署では、何ヶ月も前から準備を進め、研修生が学びたいことを理解しやすいようにと伝え方を工夫し、少し緊張しながらも丁寧な対応をしていました。また、事前に研修生の足のサイズを確認し用意した長靴が細くて履けないトラブルが発生しましたが、協力して代わりの長靴を準備する姿と笑顔がありました。

どの現場でもしっかりと学び、感謝の言葉を伝えてくれる研修生と木曾署職員との距離が近づいていく様子を間近で見て、とても嬉しく、木曾署パワーを誇らしく思いました!

貴重な出会いと機会、そして、たくさんの笑顔を見せていただき、ありがとうございました(^_^)



パプアニューギニアの研修生と迎えた職員たち(木曾署)



中部森林管理局のホームページ等へのアクセスは、以下を読み込んでください。



中部森林管理局
ホームページ



広報
「中部の森林」



用語の解説

本誌文中に掲載している主な専門用語・業界用語を解説。

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中区熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	c_nagoya@maff.go.jp
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	c_toyama@maff.go.jp
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	c_hokushin@maff.go.jp
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	c_chushin@maff.go.jp
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	c_tohshin@maff.go.jp
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	c_nanshin@maff.go.jp
木曽森林管理署	〒399-5604	長野県木曽郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	c_kiso@maff.go.jp
南木曽支署	〒399-5301	長野県木曽郡南木曽町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	c_nagiso@maff.go.jp
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	c_hida@maff.go.jp
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	c_gifu@maff.go.jp
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	c_tohno@maff.go.jp
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	c_aichi@maff.go.jp
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	c_gijutsus@maff.go.jp
木曽森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曽郡木曽町福島5473-8	TEL 0264-22-2122	kiso-fureai@maff.go.jp
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	

発行：林野庁 中部森林管理局
編集：総務課 広報
〒380-8575 長野県長野市栗田 715-5
電話：026-236-2531
Mail：migoroo@maff.go.jp
http://rinya.maff.go.jp/chubu/

メールマガジンに登録いただくと、広報「中部の森林」を発行日と同時にデジタル版を毎月配信します。
(毎月10日発行※編集の都合で、発行日が遅れることもあります)
登録サイト <https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。